

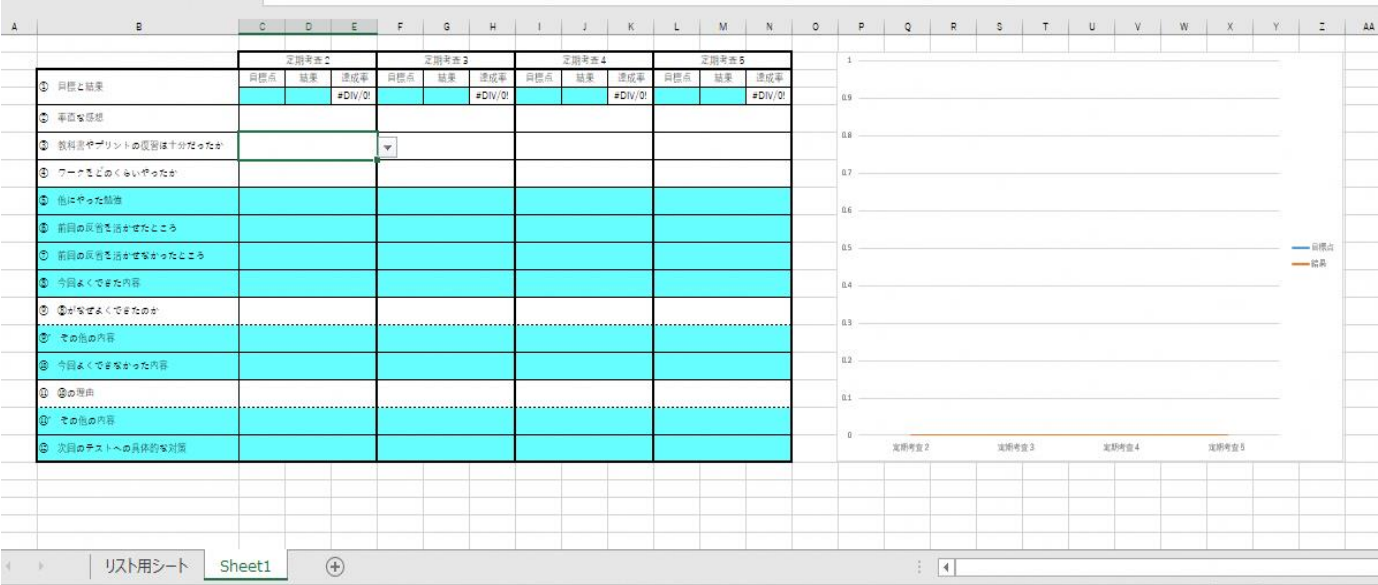
第八中学校 1 年 理科「定期考査 ふり返り」

授業のねらい

- テストまでの自分の取り組み状況を、生徒自身が客観的に確認できることで、日々の学習について振り返ることができる。
- 自分の学習状況をデータとして蓄積し、学習に活用することができる。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

- 図のような Excel ファイルを Teams で生徒に配付した。
- シートには、各定期考査の目標点・実際の点数、教科書やワークの取り組み、テストの分析などを入力する。
- 目標点と実際の点数は、達成率と折れ線グラフで表せるようにする。「双方のグラフが右肩上がりになると、学習に向けた PDCA サイクルが効果的に回っている。」というように、生徒が自分の学習状況を客観的に認識できるようにする。



生徒の様子

- 表やグラフの意図を理解し、今後の学習の取り組み方について考えようとする生徒の姿が見られた。

成果

- データを分析しながら、自分がどのように考え、判断し、問題を解決しているのかを理解し、自分の学習方法等を改善しようとする生徒の姿が見られた。
- データの把握・分析を生徒の学習意欲にどのように結びつけさせるかは、今後の継続した取り組みの中で判断し、発展させていきたい。

課題

- 数値的・段階的な評価基準の設定が難しく、現在作成途中である。